

これから5年間のまちづくりプラン

《第4次伊丹市総合計画 後期事業実施5か年計画》

1 まちづくりプランの目的

「夢と魅力のあるまち伊丹」を実現するため、人口減少社会、自治体の自主、独立など、時代の転換期に対応した、まちづくりプランを定めます。

なお、社会経済情勢の変動などの諸条件の変化に対応するため、的確な進行管理と必要に応じた調整を行います。

2 まちづくりプランの期間

平成18年度から平成22年度までの5年間とします。

3 まちづくりプランのコンセプト

4つの地域資源、「いたみ固有の歴史・文化」「自然環境」「空港」「市民力」をいかして、次の6つの視点から体系的に整理しています。

- (1) 支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現
- (2) 伊丹の未来を託す「人づくり」を実現
- (3) 自立と創造による「オンリーワン」を実現
- (4) 自然環境を守り、育て「住みよい都市環境」を実現
- (5) 地域資源を最大限いかし「活気あふれるまち」を実現
- (6) 信頼される元気な組織と効果的な行財政運営

4 まちづくりプランの取り組み

- (1) 支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現

総事業費22,705(うち一般財源2,316)百万円

市民が住み慣れた地域で、安心して暮らせる「安全・安心のまち」を確立します。

- ・地域防災計画を再構築し、緊急時の連絡体制や災害時要援護者支援対策を整備、充実し、合わせて国民保護計画を策定します。

- ・アスベスト対策は、福祉施設・学校施設など公共施設におけるアスベスト除去工事を計画的に行います。
- ・青色回転灯を装備した公用車による地域パトロールを開始し、小学校の下校時間帯に消防車両を使った「地域の安全・安心パトロール」に取り組み、子どもの安全対策に努めます。
- ・市民が安心して健康診査が受けられることができるよう、保健センターを充実します。

防災対策・危機管理システムの充実 1,962(368)百万円

防災まちづくりの推進（ハザードマップの作成、災害時要援護者支援対策の推進）、地域防災計画の再構築、国民保護計画の策定、公共施設・学校施設のアスベスト対策、高機能消防司令センター整備等、消防団拠点施設の整備充実、自主防災組織の育成等

身近な防犯と安全対策の推進 16,446(1,135)百万円

生活安全と地域防犯活動の推進、地域の安全・安心パトロール、道路安全対策、生活道路整備、雨水整備・汚水整備、水道事業配水管改良 等

きめ細かな地域福祉の推進 4,297(813)百万円

（仮称）阪神北広域小児急病センターの誘致・整備、地域福祉の推進充実、バリアフリー化推進、高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の推進、保健センターの拡充移転、市民の健康づくり推進、市立病院医療機器整備・機能強化、人権文化の推進、総合的なコミュニティ施策の推進 等

(2) 伊丹の未来を託す「人づくり」を実現 18,050(4,600)百万円

これからの地域を支えていく「人づくり」を行うために、豊かな文字・活字文化の恵沢を享受できる環境整備など、教育の質的向上や子育て支援策を充実します。安心して子育てできる環境整備を進め、保育所の待機児童解消に向けた取り組みなど、こども施策を総合的かつ体系的に推進します。

- ・「“読む・書く・話す・聞く”ことば文化都市伊丹特区」の認定を受け、児童生徒の、優れたコミュニケーション能力を育成します。
- ・「子ども読書活動推進計画」の策定や新図書館の移転・整備により、子どもの基礎学力・国語力・創造力を高めます。
- ・伊丹市・宝塚市・川西市・猪名川町の3市1町で取り組む、（仮称）阪神北広域小児急病センターを本市に誘致し、平成20年度開設を目指します。
- ・子育て支援医療費助成制度の拡充や育児支援家庭訪問事業を新たに実施するなど「愛あいプラン」を積極的に展開します。

- ・ 保育所のいわゆる潜在的待機児童解消を目指し、民間保育所の誘致や幼稚園と保育所の一体施設の設置に取り組みます。
- ・ 保健、医療、福祉、教育が連携し、地域療育支援システムを確立するとともに、障害の種別を越えた総合通園施設として、「総合療育支援センター（こども発達支援センター）」の設置に取り組みます。

子どもたちの基礎学力の向上 9,377(2,889)百万円

教育ビジョン（基本計画）の策定、「読む・書く・話す・聞く」ことば文化都市伊丹特区の推進、子ども読書活動推進計画の策定と推進、学校施設整備・アスベスト対策等

スポーツ、芸術文化の振興 5,931(1,041)百万円

新図書館等の移転・整備と機能強化、花摘み園用地の活用、市民の主体的な生涯学習活動の支援、文化財の保存整備、のじぎく兵庫国体（なぎなた競技など）の開催等

安心して子育てできる環境づくり 2,742(670)百万円

（仮称）阪神北広域小児急病センターの誘致・整備、子育て支援医療費助成制度の拡充、育児支援家庭訪問、保育サービスの充実、民間認可保育所の誘致、総合施設（幼保一元化）の設置、保健センターの拡充移転、総合療育支援センター（こども発達支援センター）等

(3) 自立と創造による「オンリーワン」を実現 703(238)百万円

地域の個性をいかし都市の魅力を高め発揮するために、都市景観計画などの推進により都市の魅力の向上を図ります。

- ・ 新たな「景観計画」を推進し、歩いて楽しく、訪れる人にもやさしい、伊丹ならではのまちづくりを行います。
- ・ 清酒発祥の地、俳句を中心としたことば文化、旧伊丹郷町といった、「いたみ」固有の歴史・文化をいかします。
- ・ みやのまえ文化の郷、柿衛文庫、花摘み園用地を活用する、「都市再生整備計画」を策定し、伊丹の街のシンボルとなるよう、伊丹ブランドを確立し、発信します。

伊丹の歴史を実感。歩いて楽しい街なみづくり 0(0)百万円

都市景観計画の推進、地区計画の推進とまちづくり活動支援、中心市街地の都市再生整備計画の推進、放置自転車対策（駐輪指導）等

歴史・文化都市として「伊丹ブランド」を全国発信 288(59)百万円

中心市街地の都市再生整備計画の推進、新図書館等の移転整備と機能強化、花摘み園用地の活用、伊丹都市ブランド戦略の推進等

住みたい・訪れたいまち伊丹の魅力の整備 415(179)百万円

都市計画マスタープランの推進、伊丹アピールプランの推進、次世代育成支援等

(4) 自然環境を守り、育て「住みよい都市環境」を実現

4,567(1,169)百万円

都市機能と自然環境が調和する住みよいまちづくりを行うために、水辺環境の整備など自然の再生や保全、さらにリサイクルの徹底などに努め、循環型社会の実現を目指します。

- ・ 昆陽池の水質浄化に合わせ、伊丹固有の水辺環境を再生するなど、身近な自然環境づくりを進め、生活の中で自然に親しむライフスタイルを構築します。
- ・ 環境マネジメントシステムを構築し、省エネルギーに取り組むとともに、ごみの減量化・リサイクル推進に取り組みます。
- ・ 産地と消費者が近接し、新鮮で安全な農産物を供給できる都市農業の特性をいかし、中心市街地等に地場産農産物販売所の設置を検討し、地産地消を促進します。

市民と共に身近な自然環境づくり

3,444(952)百万円

昆陽池の水質浄化・水量確保・水辺環境の整備（ホタルやオニバスなどの育成）、公園・緑地・緑道の保全と整備 等

地球環境にも配慮した循環型社会の実現

1,123(217)百万円

環境基本計画の推進、環境マネジメントシステムの導入と推進、ごみ減量化・リサイクルの推進、安全快適な市バス事業の推進 等

都市内農業の多様な役割の見直し

0(0)百万円

農業振興計画の推進、市民農園の運営の見直しと拡充

(5) 地域資源を最大限いかし「活気あふれるまち」を実現

7,922(1,164)百万円

まちの活気・元気・パワーを上げるために、地域資源をいかし、新しい文化と産業の創造、人・モノ・情報の交流を促進するよう努めます。

- ・ 新たな産業振興ビジョンに基づき、「伊丹版」企業誘致制度の検討、文化事業と商店の連携による誘導策を講じ、にぎわい創出に取り組みます。
- ・ 産業・情報センターを機能強化し、産業の活性化を図ります。
- ・ 市民が主体となって、地域での活動を、ビジネスとして取り組む地域に根ざしたコミュニティビジネスを育成します。
- ・ 大阪国際空港周辺緑地（伊丹スカイパーク）を整備するとともに、空港へのアクセス性の向上、空港をいかした産業の誘導・育成支援に取り組みます。

多くの人々が集い、産業が興るまちづくり 4,891(753)百万円

新産業振興ビジョンの推進(「伊丹版」企業誘致制度の検討など)、産業・情報センター機能の充実、都市計画道路整備、歩行者優先道路整備、中小企業融資あっせん制度等各種支援制度の充実 等

市民、地元企業とのパートナーシップによる、にぎわいづくり

270(270)百万円

中心市街地活性化基本計画等の推進、まちづくり機関(TMO)活動支援及び連携、中心市街地の都市再生整備計画の推進 等

伊丹空港をいかしたまちづくり 2,761(141)百万円

空港周辺緑地(伊丹スカイパーク)の整備と活用、空港をいかした産業の誘導・育成支援、空港アクセスの取り組み、中村地区整備の推進 等

(6) 信頼される元気な組織と効果的な行財政運営 1,305(683)百万円

組織規模の適正化と効率・効果的な行財政運営を行うことが、これからのまちづくりを進めるうえで不可欠です。持続可能な市政運営を行うため、行財政運営改善計画(第5次行政改革大綱)を推進し、事業実施計画の的確な進行管理に努めます。

・行財政運営改善計画の基本方針

1. 内部努力による人件費削減
2. 民営化・民間委託等の推進
3. 地方公営企業の経営健全化
4. 地方公社等の経営健全化
5. 積極的な財源確保

・危機管理室の設置、こども部、都市創造部や人権担当の市長付参事の設置など、簡素で効率的かつ市民にわかりやすい「組織改革」を実施し、常に効率・効果的な組織の構築と運用に努めます。

行財政運営の大胆な改革

0(0)百万円

市施設の民営化等、組織のスリム化と外郭団体の整理・統廃合、土地開発公社の経営健全化 等

自立的な行財政システムの構築

1,305(683)百万円

都市経営戦略調査研究、行財政運営改善計画の推進、事業実施計画の進行管理、公共施設の再配置・再活用、市民力の活用、電子自治体の推進、公営事業の経営健全化の推進 等

市民サービスの向上にあわせた組織づくり

0(0)百万円

次世代育成支援関連窓口の総合化等、市行政窓口のサービス向上、市民対話及び市民参画の推進

発行 平成18(2006)年2月
伊丹市企画財政部企画調整室
TEL 072-784-8007(直)
FAX 072-784-8008